

2025年8月期決算説明会資料

株式会社エヌ・ピー・シー（グロース：6255） 2025年10月10日



INDEX

1. 2025年8月期業績
2. 市場環境 当社の取り組み
3. 2026年8月期業績予想
4. 中期経営計画

2025年8月期業績

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

2025年8月期 決算概要 連結損益計算書



(単位：百万円)

	2024年8月期		2025年8月期							
	実績		期初予想 (2024.10.15)		修正予想 (2025.4.10)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	修正 予想比 (%)
売上高	10,797	100.0	10,925	100.0	9,294	100.0	9,272	100.0	△14.1	△0.2
売上総利益	3,579	33.1	3,205	29.3	3,093	33.3	3,101	33.4	△13.4	0.3
販売管理費	1,143	10.6	1,135	10.4	1,189	12.8	1,180	12.7	3.2	△0.8
営業利益	2,436	22.6	2,069	18.9	1,904	20.5	1,920	20.7	△21.2	0.8
営業外収益	4	0.0	3	0.0	9	0.1	21	0.2	425.0	133.3
営業外費用	14	0.1	4	0.0	17	0.2	19	0.2	35.7	11.8
経常利益	2,426	22.5	2,069	18.9	1,896	20.4	1,922	20.7	△20.8	1.4
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	2,426	22.5	2,069	18.9	1,896	20.4	1,922	20.7	△20.8	1.4
法人税等	722	6.7	519	4.8	701	7.5	535	5.8	△25.9	△23.7
法人税等調整額	27	0.3	-	-	-	-	61	0.7	125.9	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,676	15.5	1,549	14.2	1,195	12.9	1,325	14.3	△20.9	10.9

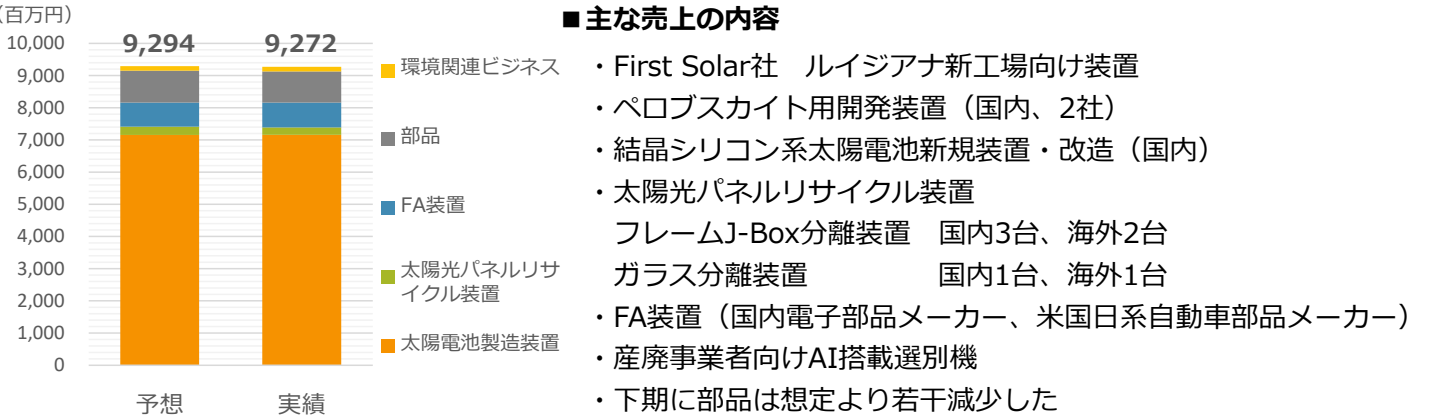
(注) 前期比、期初予想比及び修正予想比はその増減比です。

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

3

2025年8月期 決算概要
予想と実績の比較

売上高



利益

- 売上総利益
- ・ 利益率の高い部品等の売上が下期に想定より少なかったものの、米国案件における現地作業の原価低減などにより、概ね予定通り
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益
- ・ 売上総利益の微増や販管費微減のため、営業利益および経常利益は予定を少し上回った
 - ・ 外国税額控除の割合増加により法人税が予定より減少したことや、税効果会計における区分変更により予定より利益が拡大し、当期純利益は想定を上回った

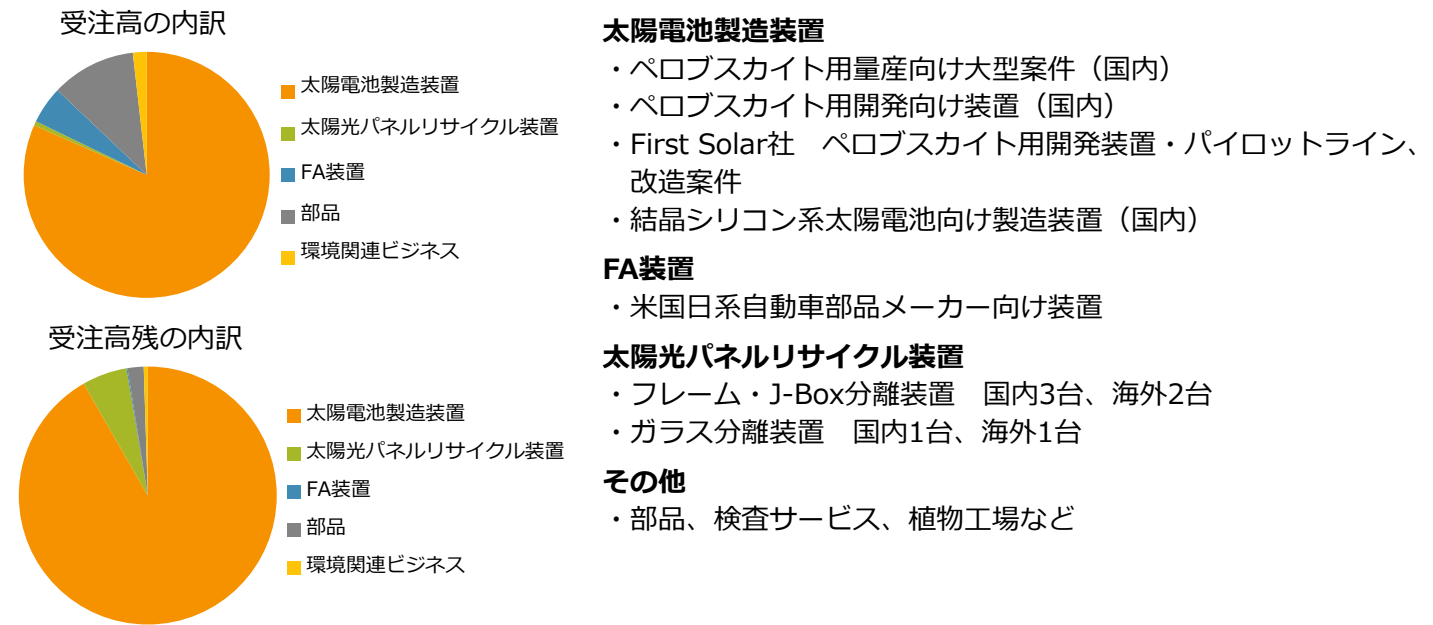
2025年8月期 決算概要
受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2024年8月期		2025年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
合計	8,601	8,079	7,916	△8.0	6,723	△16.8

(注) 前期比はその増減比です。

受注高の内訳



2025年8月期 決算概要
連結貸借対照表



(単位：百万円)

	2024.8末	2025.8末		2024.8末	2025.8末
資産	15,436	12,911	負債	5,747	2,075
流動資産	11,958	9,649	流動負債	5,666	1,972
現預金	5,237	6,421	買掛金・電子記録債務	2,540	1,063
受取手形・売掛金・電子記録債権	2,793	1,962	未払法人税等	672	263
仕掛品	3,759	1,044	前受金	1,976	287
原材料・貯蔵品	17	21	引当金	193	122
その他	150	199	その他	287	235
固定資産	3,477	3,261	固定負債	80	103
建物・構築物（純額）	1,473	1,313	純資産	9,684	10,835
土地	1,548	1,548	資本金・資本剰余金	5,550	5,566
その他	456	400	利益剰余金	4,286	5,396
			自己株式	△306	△263
			その他	154	135

特記事項

- ・更なる大型追加受注を見越して手元資金の確保が必要
→国内案件の場合、前受金の受領が難しいため、大きな案件に対応できる体力があること（借入は顧客にとっては一リスク）を示すことが受注には不可欠

市場環境
当社の取り組み

トピックス

国内ペロブスカイト太陽電池メーカー向け大型案件

First Solar社向けペロブスカイト用開発装置・パイロットライン

当社装置で分離した太陽光パネルガラスの水平リサイクルに成功

水平リサイクルを可能にする「EVAスクレーパー」を販売開始

産廃業界向け装置（産廃自動化装置）に注力

太陽電池製造装置： ①米国の太陽電池市場

米国のインフレ抑制法（IRA）の状況

- ・ 2025年7月4日に法律改正
 - セクション45X税額控除（太陽光パネル等の製造品の投資に対する控除）の太陽光関連部分は変更なし
 - セクション48E税額控除（太陽光等発電所の設置への投資に対する控除）は期間短縮・要件厳格化
=First Solar社への直接的影響は限定的、市場への影響の可能性あり

米国における太陽光発電の市場環境

ポジティブ要因

- ・ データセンターの電力需要
- ・ 各州の再生可能エネルギー利用に関する目標設定
- ・ 中国、東南アジアパネルへの関税等による規制

ニュートラル要因

- ・ セクション45X税額控除

ネガティブ要因

- ・ セクション48E税額控除
- ・ トラUMP大統領の再エネへのスタンス（太陽光への批判は限定的）
- ・ 米国の追加関税による影響（原材料高騰、輸出入に関する障壁など）

②First Solar社の状況と当社の取り組み

First Solar社の業績予想と同社の受注状況

	2024年（実績）		2025年（予想）	
売上高	42億ドル	(6,300億円)	49億～57億ドル	(7,350億～8,550億円)
売上総利益	18億ドル	(2,700億円)	20.5億～23.4億ドル	(3,075億～3,510億円)
営業利益	13億ドル	(1,950億円)	15.3億～18.7億ドル	(2,295億～2,805億円)
設備投資額	15億ドル	(2,250億円)	10億～15億ドル	(1,500億～2,250億円)
出荷量	14.1GW		16.7～19.3GW	

・受注残高は2Q決算発表時点で**64.0GW**、受注可能性案件は83.3GW

(出所：First Solar '24 4Q Key Quarterly Financial Data, '25 2Q Earnings Call)

First Solar社の設備投資

- ①2026年末に25GW（米国内14GW）の生産能力となる見込み
- ②ペロブスカイト関連の製品化に向けた開発装置・パイロットライン等の導入
- ③関税の影響や市場の変化に対応するため、米国内での生産能力増強に向けて設備の移設や新規設備導入の選択肢を検討中

当社の今後の取り組み

- ・ペロブスカイト、タンデムに関連する開発装置やパイロットラインを納入ならびに追加受注見込み
- ・生産能力増強に向けた設備の移設・新規導入等の案件を2026年8月期に受注予定
- ・前工程の新規装置を提供開始予定

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

10

③ペロブスカイト太陽電池（国内市場）

ペロブスカイト太陽電池に対する日本政府の動向

生産に対する支援

- ・2030年までにGW級の生産体制構築を目指す
- ・従来パネルでは設置が困難だった設置場所への施工方法の確立
- ・製造コスト低減のため原材料を含めた強靱なサプライチェーンを構築、国際競争力を向上

需要創出に向けた支援

- ・2040年に約20GW導入を目指す
- ・フィルム型ペロブスカイトを従来パネルの設置が難しい場所に設置する自治体・企業への支援

量産技術確立に向けた支援

- ・2040年に向けて自立化可能な発電コストの達成を目指す
- ・タンデム型の研究開発を補助

海外展開に対する戦略

- ・結晶シリコン系における日本企業の世界シェア減少、製造技術優位性の喪失、技術・人材流出などの反省を踏まえ、国際的な競争力を獲得するため以下の戦略を実行
- 海外市場の早期獲得、信頼性評価等に関する国際標準の早期策定、高度な研究機関を持つ友好国との連携

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

11

太陽電池製造装置：

③ペロブスカイト太陽電池（実績と取り組み）

当社の実績と取り組み

国内

- ・3Qに国内企業から大型ラインを受注済み
- FS社における実績、松山工場の生産能力、資金力（財務安定性）が強みとなった
- ・その他複数企業から開発用装置などを継続的に受注
- 2026年8月期には新たに上記以外の顧客より開発・パイロットラインを受注見込み

First Solar社

- ・開発用装置、パイロットラインを納入予定・追加受注見込み
- 将来の製品化後には、既存工場の装置入れ替え・大幅改造など大型案件に発展する可能性あり

前工程の装置を提供開始

- ・Gosan Tech Co., Ltd.と業務提携し、ペロブスカイト用インクジェット塗布装置を提供
Gosan Tech：韓国企業。2015年設立。高性能なインクジェット技術を持つ
韓国大手企業ヘディスプレイおよび
ペロブスカイト向けインクジェット塗布装置の提供実績あり
- ・米国顧客を中心として海外及び国内企業へ展開スタート

Gosan Techの
インクジェット塗布装置



Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

12

太陽光パネルリサイクル装置（市場）

太陽光パネルのリサイクルの市場動向

- 日本** ・AGC株式会社、セントラル硝子株式会社より、**当社の装置（ホットナイフ分離法）を用いて分離したカバーガラスの水平リサイクルを実現**した旨のリリースが発表
（AGC社：2025年4月、セントラル硝子社2025年6月リリース）
→**現状有効的な太陽光パネルリサイクルが可能なのは、ガラスを割らずに回収でき、コスト・制度的側面でも現実的な当社装置のみ**
- ・リサイクル法案・・・制度案に関する見直しがされることになったものの、リサイクルを推進するスタンスに変化はないと思われ、**当社事業環境にも現状影響なし**
- 海外** ・ギリシャ：処理費用を払う事業者に対して、1トンあたり300ユーロの補助を決定
- ・イタリア：1パネルあたり10ユーロを補助
- ・豪州：ビクトリア州では埋め立て禁止、その他州でも禁止を検討中
リサイクル事業者が各自回収ネットワークを構築し処理を実施
- ・フランス：廃棄パネルリサイクルを行う組織Soren（フランスの廃棄パネルの77%を回収、リサイクル）の来期の処理委託先を決定する入札が開始
→当社顧客のEnvie社が継続採択される見込み、追加装置を提案中
処理委託先のうちガラスの水平リサイクルを実施しているのはEnvie社のみ
- 市場は拡大中、今後は事業の大きな柱として営業活動及び新装置開発にさらに注力する**

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

13

顧客の動向

■ 当社装置の導入企業

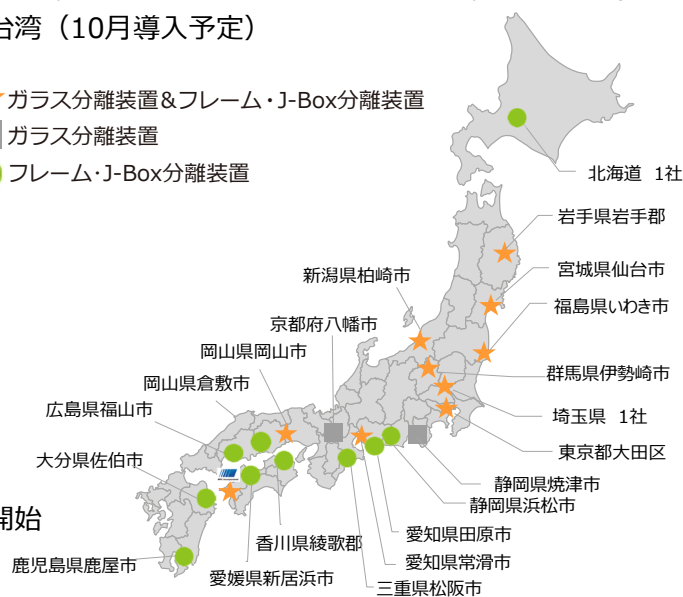
日本：18都道府県、22社が導入（予定含む）（ガラス分離装置12台、フレーム&J-Box分離装置20台）

海外：フランス、米国、オーストラリア、チェコ、台湾（10月導入予定）

■ 納入先企業の業種

- ・ 非鉄金属リサイクル会社
 - ・ 管理型最終処分会社
 - ・ E-waste*リサイクル会社 *電気電子機器廃棄物
 - ・ 電気工事会社
- 異業種・非中間処理業事業者で当社装置を検討・導入する企業が増加中

- ★ ガラス分離装置&フレーム・J-Box分離装置
- ガラス分離装置
- フレーム・J-Box分離装置



■ 再資源化高度化法の認定取得への動き

2025年11月より開始する上記法律に基づいた広域認定を受けるため、申請手続きの準備を当社顧客が開始

■ ガラスのリサイクル方法への意識の高まり

板ガラスメーカー（AGC社、セントラル硝子社）からのリリースが後押しとなり、ガラスを割らずに分離する方法を第一選択肢として考える顧客が増加

太陽光パネルリサイクル装置（当社の状況）

当社の状況

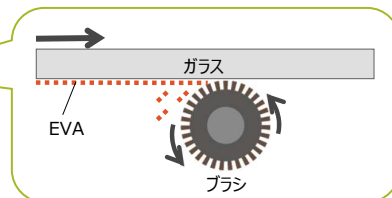
■ 太陽光パネルリサイクル装置新製品 EVAスクレーパー（2025年9月販売開始）

- ・ ガラス分離装置の後工程として使用することで、ガラスの純度を高め、価値及びリサイクル性を向上、分離後ガラスの水平リサイクルを可能に
- ・ 太陽光パネルの廃棄量ピーク時までにはガラス分離装置と合わせて200セット販売見込み（海外含まず）
- ・ セルシートから分離後のガラスの表面に特殊なブラシを回転させ、付着したEVA（樹脂）を除去（ブラシかきとり法™）→関連特許取得（特許第7712718号）

ガラス分離装置



EVAスクレーパー



■ 開発中の新装置

- ・ ガラスが割れているパネルに対応した解体装置

■ チェコの産業廃棄物事業者（Enviropol）でのデモ開催予定

- ・ 11月に欧州の潜在顧客6～8社程度（フランス、ドイツ、オーストラリア、イタリア、スペイン、ベルギーなどを想定）を招待し、2日間のデモンストレーションを実施予定

FA装置

- ・ 米国の日系自動車部品メーカーとの取引は継続、今後設備投資に向けた受注を見込む
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置をきっかけに産業廃棄物処理業界へ販路拡大
- ・ 産廃業界の企業へ訪問、自動化ニーズの掘り起こしを行う

産廃自動化装置

- ・ 既存の選別機などで取り除ききれず手作業が発生する場面等、自動化されていない工程への装置提供を目指す
- ・ ペットボトル、ビン、缶、リチウムイオンバッテリー、鉄くず等の特定品目のAI搭載選別装置の販売を開始
- ・ 複数の産廃事業者の現場を視察済、課題となっている自動化・省人化に向けて装置の提案実施



- NPC松山工場近くの産廃事業者である松山容器株式会社へ装置を納入
 - ・ 作業人員を4人→2人へ省人化を実現
 - ・ 既存のコンベアに設置でき、柔軟かつ低コストに対応したことが高評価

←ボトルを選別する様子

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

16

環境関連サービス

太陽光発電所の検査サービス、太陽光パネルのリユース・リサイクル

- ・ 安定的に案件を受注、継続することで太陽光パネルリサイクル装置の販路拡大などに繋げる
- ・ 太陽光パネルのリプレイス案件を取り込み、リユース・検査サービス案件の獲得
- ・ 京セラコミュニケーションシステムの発電所で発生している廃棄パネルの処理を当社のネットワークを利用し処理することを前提に、実証が進行中

植物工場ビジネス

- ・ フル生産（年間約60トン）、業務用や愛媛県のスーパーに販売
- ・ 業務用にレッドフリルの販売を開始
- ・ 引き続き当社の知名度向上に寄与、地域社会との共生や採用活動に繋げる



フリルレタス



グリーンリーフ



レッドフリル



Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

17

2026年8月期業績予想

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

18

2026年8月期 業績予想



(単位：百万円)

	2025年8月期（実績）				2026年8月期（予想）					
	第2四半期		通期		第2四半期			通期		
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	3,121	100.0	9,272	100.0	907	100.0	△70.9	8,014	100.0	△13.6
売上総利益	1,219	39.1	3,101	33.4	401	44.3	△67.1	1,952	24.4	△37.1
販売管理費	563	18.0	1,180	12.7	590	65.1	4.8	1,192	14.9	1.0
営業利益	656	21.0	1,920	20.7	△189	△20.8	-	760	9.5	△60.4
営業外収益	5	0.2	21	0.2	6	0.7	20.0	11	0.1	△47.6
営業外費用	15	0.5	19	0.2	2	0.3	△86.7	4	0.1	△78.9
経常利益	646	20.7	1,922	20.7	△184	△20.4	-	766	9.6	△60.1
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	646	20.7	1,922	20.8	△184	△27.8	-	766	9.6	△60.1
親会社株主に帰属する当期純利益	479	15.3	1,325	14.3	△252	△27.8	-	531	6.6	△59.9

（注） 前期比はその増減比です。

Copyright © 2025 NPC Incorporated. All rights reserved.

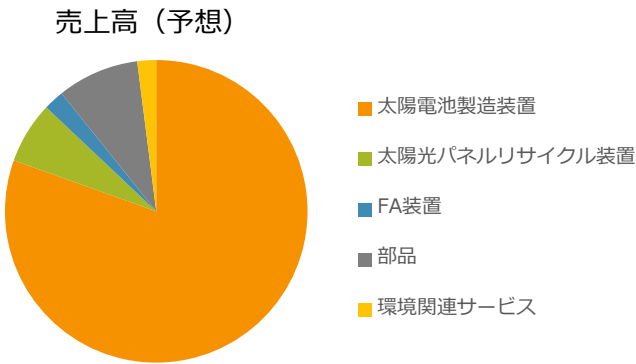
19

売上高

業績は下期偏重となる見込み
当初想定のFirst Solar社向け大型案件の受注がなかったため、前期比減収の見込み

■ 主な売上を見込んでいる案件

- ・ 国内向けペロブスカイト生産ライン
- ・ First Solar社ペロブスカイト開発装置
※パイロットラインは2027年8月期売上予定
- ・ First Solar社向けの追加装置、改造
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置
フレームJ-Box分離装置 国内3台、海外2台（受注済み）
ガラス分離装置 国内2台、海外1台（受注済み）
当期受注・当期売上分は今後受注していく
- ・ 関税や顧客の設備投資計画（米国での生産増強）による影響のため、
部品売上は前年に比べて少なくなる見込み
- ・ その他検査サービス等



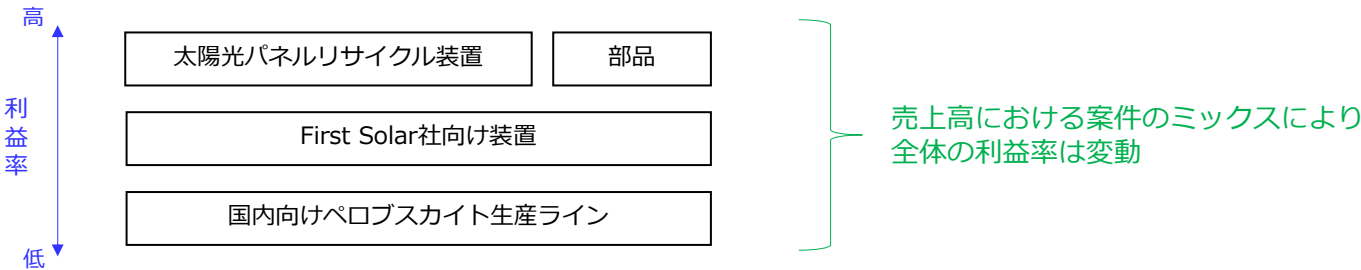
売上総利益

減収および売上総利益率の低下により、前期比減益となる見込み

- ・ First Solar社向け製造装置の利益率は従来と変わらず、適正な利益を確保
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置は、独自の特許技術により高付加価値であり収益性が高い
- ・ 部品販売も引き続き高利益率を維持
- ・ 国内向けペロブスカイト生産ラインは他案件と比べ利益率が低い
→新技術関連製品のため開発要素が多い
→競合がありコスト面は厳しいが、次段階の案件に繋げるため戦略的に受注



利益率が低い案件（上記ペロブスカイト生産ライン）の売上割合が高く、
利益率が高い部品販売が減少することで売上総利益率が低下
会社の収益性自体の低下ではなく、一時的な現象



費用及びその他の利益

- ・販売管理費についてはほぼ2025年8月期から概ね横ばいの見込み
- ・営業利益、経常利益、税引前当期純利益は、売上総利益に連動して前期比で減益の予想

設備投資、減価償却費、研究開発費

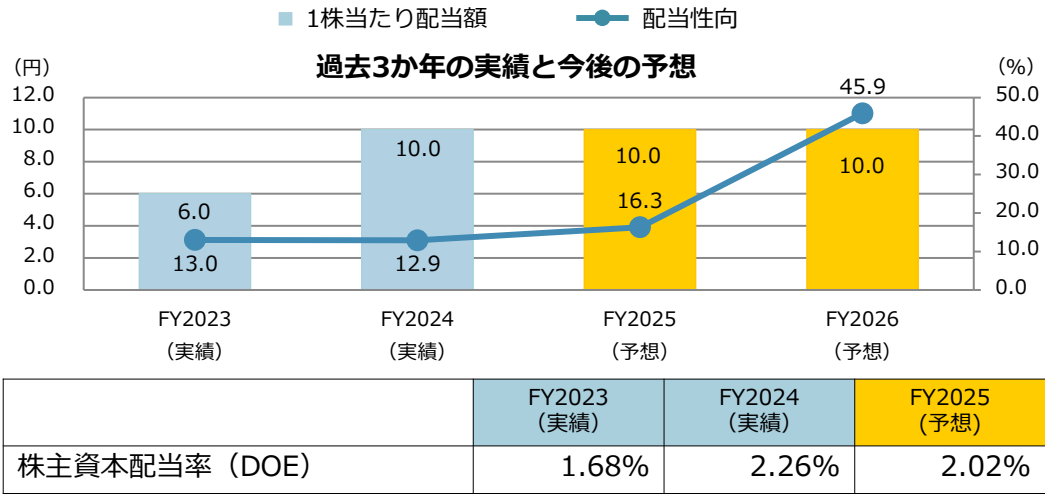
(単位：百万円)

	2024年8月期 実績	2025年8月期 実績	2026年8月期 予想	備考
設備投資費	79	63	49	設計用ソフトウェア購入、機械装置入れ替え、ネットワークセキュリティ対策製品購入
減価償却費	218	228	229	前年から横ばいの見込み
研究開発費	57	109	114	太陽光パネルリサイクル装置開発、産廃自動化装置開発など

株主還元

期末配当

- ・2025年8月期の配当予想は1株あたり10円の予定（前年から維持）
- ・2026年8月期についても、利益の減少は一時的であるため配当は10円で据え置き
- ・配当性向の上昇は減益による一時的なもの



自己株取得

- ・自己株式を5億円もしくは770,000株を上限として取得予定
- ・上限の5億円取得した場合、2025年8月期の利益に対する総配当性向は53.3%の見込み

中期経営計画

中期経営計画

中期経営計画（3か年業績）の公表を見送る背景

- ・米国の関税、再生可能エネルギーに対する政策見直し
→ First Solar社のサプライチェーン（原材料等）の不安定さなどにより設備投資動向が不確定（既存製品向け設備増強→新製品開発注力へ移行）
- ・ペロブスカイトは新技術であり、市場規模・拡大タイミングは各太陽電池メーカーの開発・検証の進捗に依存＝製造装置の需要の予測が困難
- ・第2の主要顧客と考えていた電子部品業界の顧客の設備投資が半導体市場の影響により停滞
代わりとなる安定顧客の新規獲得を進めたが、FA装置では実績が優先され成果不十分



中期的な数値目標の妥当性・正確性が担保できないため公表を見送る

中期的な事業での当社方針

- ・ First Solar社との取り組みは継続しつつ、特定顧客への偏重を解消
- | | | | | |
|--------------|-----------------|---------------|---------|-----|
| First Solar社 | ペロブスカイト太陽電池製造装置 | 太陽光パネルリサイクル装置 | 産廃自動化装置 | その他 |
| 4 | : | 3 | : | 2 |
| | | | | 1 |
- ・ 恒常的に売上総利益率30%を目指す
（高付加価値な技術、スタンダード製品、未開拓市場での展開、原価低減など）

既存顧客である太陽電池メーカーへ対応しながら
環境に貢献する高付加価値な事業の柱を増やし、利益率を拡大させる



First Solar社

- ・既存製品の量産や設備の新設・移設・改造などへの対応
- ・新技術や新製品の開発およびパイロット生産への対応



ペロブスカイト太陽電池向け装置

- ・国内向け受注済み案件の対応、今後の市場拡大に向けた受注獲得
- ・前工程への参入（インクジェット塗布装置）
- ・タンデム等新技術への対応



太陽光パネルリサイクル装置

- ・業界における当社リサイクル技術のデファクトスタンダード化、新製品開発
- ・ガラスメーカーとの連携構築
- ・廃棄パネル回収のネットワーク構築



産廃自動化装置

- ・労働環境（安全性、衛生面、人手不足）の課題にFA技術で需要掘り起こし
- ・AI技術の自社開発
- ・スタンダード製品のラインナップ拡充

IRメールマガジンのご案内

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット

-  適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。
-  月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。
-  不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



本日はありがとうございました

N P Cグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、
地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。